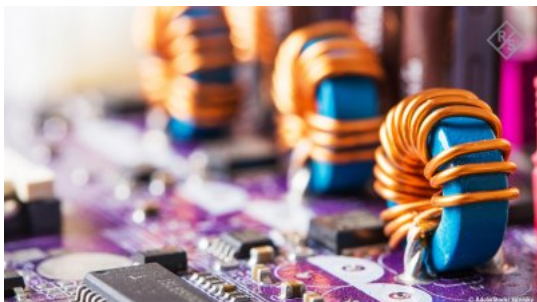




ローデ・シュワルツ、5月に電力エレクトロニクス・オンライン会議「From Design to Validation」を開催

ローデ・シュワルツは2026年5月5日と6日にオンライン会議「From Design to Validation」を開催し、産業界と学術界の専門家が現代の電力エレクトロニクスシステムにおける信頼性の高い測定および検証手法について議論します。



キャプション：ローデ・シュワルツは電子機器開発者およびテストエンジニアの皆様を、電力エレクトロニクス・オンライン会議「From Design to Validation」にご招待します。

電力エレクトロニクス市場は、より厳格な効率目標、高い電力密度、そして大規模電力網との統合の進展によって成長しています。その結果、エンジニアは理想的でない部品特性、ワイドバンドギャップデバイスにおける高速な過渡ストレス、さらにはますます厳格になるEMC要件に対応する必要があります。本会議では、最新のオシロスコープ、ベクトルネットワークアナライザ、精密電力アナライザを用いた測定中心のソリューションを通じて、これらの課題に取り組みます。

プログラムは5月5日、Hitachi EnergyのTobias Keller氏による基調講演「Power Semiconductors: Shaping the Future Power Grid – Performance and Reliability for Future Decades」で開始されます。同氏は、高電圧電力網アプリケーション向けのシリコンおよびシリコンカーバイド (SiC) デバイスの適格性評価について、熱サイクル、短絡耐性、長期信頼性データに焦点を当てて解説します。

続く基調講演は5月6日、Infineon TechnologiesのVeit Hellwig氏が担当し、窒化ガリウム (GaN) 技術が高電圧モーターインバータトポロジーに与える影響について考察します。

基調講演に加え、複数の技術セッションが用意されています。あるセッションでは受動部品の特性評価を取り上げ、100 MHz以上の周波数における寄生インダクタンスおよび寄生容量の抽出手法と、それらがコンバータの安定性に与える影響を解説します。別のセッションでは、SiCおよびGaN電力デバイスの自動動的特性評価について、ダブルパルステスト装置と高速デジタイザの同期により測定不確かさを低減し、高速リカバリ挙動を捉える方法を紹介します。

電磁両立性 (EMC) に関するテーマは2つの講演で扱われます。1つ目では、近傍界プローブを用いた放射ノイズ源の特定およびEMIフィルタ設計の有効性検証の実践的手法を紹介합니다。2つ目では、小規模プロトタイプに対する伝導エミッション測定のワークフローを、ラインインピーダンス安定化ネットワーク (LISN) と最新のミックスドシグナルオシロスコープを用いて実演します。また、時間周波数解析機能を活用したフィルタ設計手法についても説明します。

さらに別のウェビナーでは、データセンターおよびAIサーバー電源における高精度な効率測定の重要性を取り上げます。歪んだ波形や急峻な負荷変動を追跡可能な精密電力アナライザを活用し、80 PLUS認証要件を満たす実際の入力および出力電力の測定方法を解説します。

最後のセッションでは、低電圧で電力網に接続される製品における高調波電流および電圧フリッカの適合性についてご説明します。IEC/EN 61000-3-2/-3-3およびIEC/EN 61000-3-12/-3-11で定義された制限値と試験手順を解説し、電力アナライザと連携した統合コンプライアンステストソフトウェアにより、初期試作から最終認証まで自動的に合否判定を行う方法を示します。

講演者には、ローデ・シュワルツ、Hitachi、Infineon、PE-Systems、Würth Elektronik、プレーメン大学およびサラゴサ大学の専門家が含まれます。これらの発表は学術的知見と産業界の実務経験を融合し、参加者に理論的背景と実践的な測定手法の双方を提供します。

本会議は無料で参加できますが、事前登録が必要です。詳細なプログラム、講演者情報および登録は以下よりご確認ください：<http://www.rohde-schwarz.com/power-electronics-conference>

www.rohde-schwarz.com

お問い合わせ：

欧州（本社）：Christian Mokry（電話：+49 89 4129 13052、email：press@rohde-schwarz.com）

北米：Hannah Im（電話：+1 301 957-8357、email：hannah.im@rsa.rohde-schwarz.com）

アジア太平洋地域：Cheyenne Chui（電話：+65 6307 0053、email：press.apac@rohde-schwarz.com）

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じ、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2024/2025会計年度（7月から6月）には31.6億ユーロの純収益を上げました。また、2025年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約15,000名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー20階

〒160-0023

関野 敏正

電話番号：+81 3 5925 1270/1290

Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com

www.rohde-schwarz.com/jp